

校長様より

令和6年12月24日(火)

岸和田市立岸城中学校 松下 孝徳

本日、令和6年度2学期の終業式を行いました。早いもので、あと7日もすれば令和6年も終わります。12月を師走といいますが、ある一説の語源では、お坊様が走り回らなければいけないほど忙しい月ということから当てられたとされています。

終業式では今年の一文字について話をしました。清水寺での本年の一文字は「金」でした。岸城中学校の一文字は「新」です。それは令和6年度「新」たな仲間とともに、様々な「新」しい取り組みを発信した一年だからです。ちなみに私の一文字は「観」でした。自分の体の事や家をよく観察できました。また、新たに出会った様々な先生や生徒、保護者を観ることができました。みんなの活躍を観ることができた一年、みんなの考え方も観ることができた一年でした。皆さんの今年の一文字は何ですか？、ちょっと今年を振り返り、ご家庭で考えてみてはいかがでしょうか。

先月号でお話したトピックスを紹介いたしますね。

※進路指導：来年行われる受験に向けてる年生では面接練習を行いました。各クラス4〜5人のグループで校長、教頭、生徒指導担当、児童生徒らが面接官になって行いました。みんな緊張した面持ちで取り組みました。4〜5個の質問を行い

ました。が、非常に上手く返答していました。ひい子目ではあるもの、
これなら面接大丈夫と思わせるものでした。またこの学期、個人面接
を行います。本番に向けていい準備となりました。うまくいきます
すように……。

※合唱コンクール……浪切ホールで12月6日(金)に行いました。全学
年は私にとって初めてだったので、とっても楽しみにしていました。ど
の学年もしぶかりと準備ができていました。本番に向けて各クラスで
は多くの摩擦やトラブルはおきていましたが、それが化学反応もお
こしていました。特に3年生ほどのクラスも金賞ではと思える
ほどでした。大きな音の玉が浪切ホールを包んでいました。私は
1年の発表からずーっと感動で涙でした。岸城中学校の
みんなの感動をありがとう。3年生の魂はしっかりと後
輩に引きつがれました。卒業式では体育館を大きな音
の玉で包み込んで下さい。お疲れ様でした。

令和7年度は乙巳(へちま)の年……60年同期の
干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定さ
せていく」という意味合いを持つ年とされています。岸城中
校では令和7年度「すべての職員がすべての生徒を喜ば
せにびきたる学校」を目指して奴力を重ねていきます。

良いお年をお迎えください。